



にゅーすれたーふじやま・長泉 あけましておめでとうございます



2016. 1

パナソニックエイジフリー介護チェーン

今年の干支はサル。十二支の9番目で「申」と書きます。十二支とはもともと農作物のサイクルについて表したもので、申とは成長した実がかたまりつつある時期のこと。これをわかりやすく伝えるため、発音が似る動物の名をあてたようで、「猿=去る」とも言われます。病が去る、災いが去る、厄が去る・・・など日本人は年中行事や風習に取り入れてきました。

申年は災厄が去ってくれると言って縁起がよいとされています。「申年に赤い服を身に付けると病が去る」「申年に赤い肌着を贈られると、将来も下（しも）の世話にならないですむ」「申年に赤い下着を4枚贈られると、死（4）が去る」・・・どれも、申と赤の組み合わせです。赤はさまざまな色の中でもとりわけ鮮やかで、印象的で、明るいものです。

さらにこの「あかるい」が赤の語源になったのではといわれています。赤信号、商品の広告、消防車、郵便ポスト・・・など人に注意を促す場面でよく使われているのはこのためです。その鮮やかな「赤」には、穢れ（けがれ）を祓い、厄を落とす、魔除けの効果があるとされてきました。神社の鳥居、お地蔵さんのよだれかけ、本殿も真っ赤（正確には朱色）な神社もたくさんあります。慶弔の席でお赤飯を食べるのも同様の意味があるといわれています。「赤ちゃん」も穢れていない無垢の象徴、「還暦」のときの赤い頭巾にちゃんちゃんこも60通りの暦が一巡し、生まれ変わって再び赤ちゃんのような強いエネルギーをもち、年齢からくる病気や疲れという「魔」を祓って欲しいからだと言います。。。こんなことを書きながら、12年前のふじやまオープン当初のことを思い出しました。その年は各衣料メーカーがこぞって赤い服や赤い下着を販売しました。シルバー部門に参入したワコールも肌着とパンツを作り、エイジフリーも販売に協力しました。

あの時は東京巣鴨の地蔵通り商店街「マルジ」（日本一の赤パンツ！）が赤パンツを販売し、大ブレイク。私も「とげぬき地蔵尊」にお詣りしたことを懐かしく思い出しました。申年の今年も災厄が去り、パワーが貰えるように巣鴨詣でをしてパンツを求めてこようかと考えています。



申年生まれの特徴は。。。。。

器用で明朗活発。好奇心旺盛で非常に要領がいいのですが、落ち着きがなく、時には木から落ちてしまうこともあるようです。しっかりもので個性的な人が多く要領がいいので何でも器用にこなします非常に行動的で知りたいことや身に付けたい技術などもすばやく習得できるのが良いところ。

気を付けなければならないことは中途半端で終わってしまう傾向があり、違うことに意識がいつ、一つのことがあまり追及できないこともある。賢いので人にあまり見せませんが、本当は目立ちたがり屋な人が多いようです。イメージチェンジが吉を呼ぶ運勢。新年スタートに合わせてメイクやヘアスタイルを変えてみると身も心も新鮮な気持ちになれます。

パナソニックエイジフリー介護チェーンふじやま・長泉を

本年もどうぞよろしく願いいたします。

渡邊啓視